

合同企業説明会（横浜市立大学）に参加して

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は3月1日（火）、横浜市立大学（横浜市金沢区）において実施された合同企業説明会に参加した。同説明会横浜市立大学では3月1日～4日の間、合計178社の企業が自社の魅力をアピールするためブースを出展した。参加した広報官は、入隊後の幹部自衛官のキャリアなどを説明し、部隊指揮官としての海外での活躍や、日本の防衛について勉強する機会が多くあることを紹介した。

ブースに came した学生は、自衛隊における活躍の場の広さに驚いており、特に「会計」、「補給」及び航空自衛隊における「気象」などの後方職域に興味を示し、防衛省と企業等とのつながりにも意外な発見をしていた。

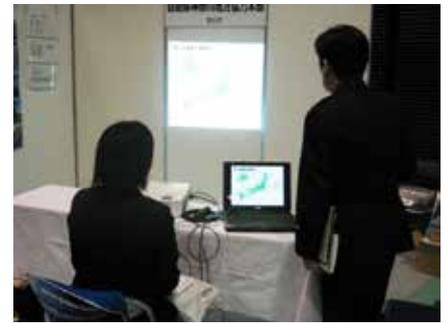
上大岡募集案内所は「今後、大学生に対し、幹部自衛官の魅力をアピールし、優秀な人材の確保に努めていきたい」としている。



後方職域に関心を示す学生



広域異動について質問する学生



陸上自衛隊の編成について説明する広報官

神奈川自衛隊音楽まつりに参加して

神奈川地本カレッジ防衛モニター 西山 望

3月6日に、カレッジ防衛モニターとして神奈川自衛隊音楽まつりに参加した。神奈川自衛隊音楽まつりは昭和55年に始まり、今年で36回を迎えた。参加団体は防衛大 学校儀仗隊、綾瀬市立綾北中学校マーチングバンド、航空自衛隊中部航空音楽隊、在日米陸軍軍楽隊、海上自衛隊横須賀音楽隊の計5団体である。開場前から開場を待つ人々の長蛇の列が出来ていた。

この音楽まつりは、神奈川県民と自衛隊の交流する場だけではなく、今春自衛隊に入隊・入校する将来の自衛官の方々を激励する会でもある。

今までのモニター活動とは違い、いつもはイベントに対してお客さんとして参加する立場であったが、自衛官の皆様と一緒に運営する側に立つての参加であり、それは非常に新鮮なものであった。お手伝いできたのは冊子配り等の簡単な仕事であったが何よりも神奈川自衛隊音楽まつりの運営に少しでも力添えできたことがとても嬉しかった。

これを最後に第4期カレッジ防衛モニターの活動は終了した。1年を通して自衛隊の様々なイベントに参加し、多くの貴重な体験をすることが出来た。これからは自衛隊とはどんな組織なのか理解する立場から、モニター活動を通して理解したことや経験したことを周りに情報を発信していく立場になりたい。



一般入場ゲートの様子（受付右が本人）